

令和7年度 学校運営連絡協議会実施報告書

1 組織

- (1) 都立新宿山吹高等学校 学校運営連絡協議会（通信制課程）
- (2) 事務局の構成 教諭(教務主任兼務)=事務局長、教務部員1名 進路・生活指導部1名 計3名
- (3) 内部委員の構成
校長、副校長、経営企画課（室）長、教諭(教務担当)、主任教諭(進路・生活指導担当)、
学年主任2名 計7名
- (4) 協議委員の構成（氏名の掲載も可）
早稲田大学教授 NHK コンテンツ制作局制作センターチーフプロデューサー
近隣中学校校長 計3名

2 令和7年度学校運営連絡協議会の概要

- (1) 学校運営連絡協議会（第1～3回）の開催日時、出席者、内容、その他
第1回 令和7年7月15日（火）内部委員7名、協議委員2名
協議委員委嘱、委員紹介、評価委員の選出
学校経営計画、昨年度の学校運営連絡協議会の課題
新宿山吹高校通信制課程における「新たな教育のスタイル」取組状況
 - ・ +α 講座の取り組み計画 ・ LMS の利用計画
 - ・ 生徒の現状 ・ 本校の現状と課題等説明、意見交換意見交換及び指導助言
 - 第2回 令和7年12月17日（水）内部委員7名、協議委員2名
 - ・ 年度当初の計画について ・ LMS の利用状況 ・ +α 講座の実施
 - ・ デジタル教科書等の使用状況意見交換及び指導助言
 - 第3回 令和8年3月17日（火）内部委員7名、協議委員2名
 - ・ +α 講座の取り組み報告 ・ デジタル教科書の取り組み報告
 - ・ 学校評価アンケートの結果報告意見交換及び指導助言
協議委員からの教育活動に対する意見、学校評価の内容検討、協議
- (2) 評価委員会の開催日時、会場、出席者、内容、その他
第1回 令和7年2月12日（水曜）内部委員3名、協議委員3名
学校評価の基本方針の確認、昨年度の学校評価結果の分析・考察
今年度の学校評価の実施に向けた検討

3 学校運営連絡協議会による学校評価（学校評価報告）

- (1) 学校評価の観点
「学校への理解」「学校の意欲」「学校の実践」の観点で実施する。
- (2) アンケート調査の実施時期・対象・規模
 - ・ 2月 全校生徒 対象：399人 回収：94人 回収率：23.6%
 - ・ 2月 保護者全員 対象：399人 回収：41人 回収率：10.3%
 - ・ 2月 教職員 対象：21人 回収：15人 回収率：71.4%
- (3) 主な評価項目
 - ・ ※学校運営、学習指導、生活指導、進路指導、特別活動・部活動、健康・安全、施設・設備などの評価項目を、学校実態に合わせて適宜設定する。
- (4) 評価結果の概要
生徒及び保護者
○回答率 生徒の回答率は昨年同様であったが、保護者に関しては低下した。また同一の生徒が複数回にわたって回答しているとみられる内容があった。全日制等と比較すると低い結果であるため、学習支援システムを活用したより有効なアンケートを実施し回答率の上昇は必要である。
○回答者の所属学年は生徒、保護者共に入学1年目が多い。

- 入学して良かったか：入学して良かったと思うと回答した生徒は、94%であった。保護者の97%は「入学させて良かった」と回答し、いずれも高い割合であった。
- 学校外の学習時間：学校外の学習時間0分が14名(3.5%)、30分程度、1時間程度がそれぞれ23名(5.76%)、3時間以上が17名(4.2%)であった。通信制課程は、自学自習が基本であるが、一人一台端末の活用推進とあわせて、本年度、本格的に導入したスタディサプリを有効活用するとともに、スクーリング以外の日でも登校させ学習させるなどの策を講じ、多方面から生徒へアプローチし学数時間の増加を図りたい。
- 学校教育全般：満足していると回答した生徒の割合は、授業67%、レポート添削66%、進路指導71%、生活指導68%、相談のしやすさ72%、特別活動73%、部活動74%、いじめ防止72%、体罰や暴言防止76%、図書館の使用しやすさ72%、施設設備の整備71%、等すべての項目において肯定する回答者が多かった。しかし通信制教育の軸である、授業やレポート添削については他の項目に比較すると若干満足度が低い。

教職員

学校運営、授業力向上への取組、適切な進路指導への取組、適切な教育相談体制の充実、部活動や学校行事の推進、図書館利用の推進、施設設備の充実、いじめ防止対策、体罰や暴言防止、ライフ・ワーク・バランス、教職員間の連携、計画的な予算執行については全員が肯定的な回答をしていた。

(5) 考察

本校の教育体制には、生徒、保護者共に概ね満足しているようであるがICT化を契機に新たな学習スタイルを提供していくとともに、コミュニケーションの場面を設定する策として学校行事や部活動の充実を図っていききたい。また単位習得率の向上を図るためにも、丁寧なレポート添削や授業改善に努める必要がある。

4 学校運営連絡協議会の成果と課題

(1) 学校運営連絡協議会を実施して得られた成果

- ・生徒の授業についてのアンケート結果から、生徒、保護者の学校への満足度が高いことが肯定的に受け止められた。授業改善に向けた校内研修の実施、充実が必要である。

(2) 学校運営連絡協議会を実施して明らかとなった課題

- ・デジタル教材に関する生徒・保護者の意見等ももっと聴取すべきであった。

5 学校運営連絡協議会及び学校評価を活用した教育活動の改善事項（学校経営計画へ反映）

(1) 学校運営 ・生徒・保護者に対して、機会あるたびに学校の教育方針を説明し理解を得る。

- ・「新たな教育スタイル」の通信制課程の推進に向けて取り組む。

(2) 学習指導 ・これまでのスクーリングやレポートの学びの他、スタディサプリの活用や「新たな教育スタイル」における学びを生徒に提供する。

(3) 特別活動 ・年間50種類の特別活動を計画的に推進していく。

(4) 生活指導 ・YSW,スクールカウンセラーとも協力しながら、きめ細やかに生徒を支援する。

(5) 進路指導 ・面談等を充実させるとともに、進路指導の充実を図る。

(6) 健康 ・安全・スクーリングの日は、教員が玄関に常駐し生徒の様子を観察するとともに、部外者の立ち入りについて等が内容に安全に気を配る。

6 職員会議及び企画調整会議への協議委員の参加実績及び成果

【実績】 職員会議 0回 企画調整会議 0回

【成果】 教員研修等に協議委員にも参加していただくことができた。

8 その他

- ・保護者のアンケート回収率を更に高めるため、質問内容を含め検討していく。
- ・評価精度の更なる向上のため、校内外の広報活動を充実させる。学校公開の機会を増やしていく。